

# ☆34 助動詞書き換え



基本は100%を目指す。80%でいいや！と言えない理由があります。

No.1のプリントで、入試は、基本から50点分が出題される、という話をしました。これについて補足します。

「基本はほとんど大丈夫です。」この言葉を、子供たちから、何度聞いたことか…。20年以上授業の現場にいて、毎年同じ言葉を聞きますが、これはベスト3に入ります。

「ほとんど大丈夫です」「ほぼできます」という言葉に、私は危機感を持っているのですが、その理由を説明させてください。

たとえば、中学校の歴史の教科書には、太字が250個あります。見開き2ページを34行とすると、2ページあたり4,17個分、太字があります。つまり、1つの太字が占める行数は、8,5行です。

何が言いたいかですが、もし「8割できるから大丈夫」ということは、2割できていない。と言えます。太字の数で考えますと、2割とは50個です。行数で言うと、8,5行×50個で、425行分もの知識が抜けていることになります。

「残りの1700行は分かっているから大丈夫」と考えることって、できるものなのでしょうか。

応用はもちろん、標準問題も難しい現在の入試、基本問題は、できるだけ落とさたくありません。よって、基本100%を目指し、250点(50点×5科目)を確実に確保する。

そんな基本重視な勉強をしてほしいと思います。その第一歩は教科書です。お気に入りのマンガ本のように、ボロボロになるまで使ってあげてほしいなと思います。

現在の文で、主語が三人称単数(I, you以外の1人)のとき、be動詞はisとし、一般動詞にはsまたはesをつける。  
(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

can = be able エイブル to ~: ~することができます。

問題174 同じような意味になる文を完成させなさい。

- (1) I am able to swim well. (2) Are you able to ski ?

I \_\_\_\_\_ swim well. \_\_\_\_\_ ski ?  
私は上手 [ \_\_\_\_\_ ]。 あなたは [ \_\_\_\_\_ ]。

問題175 文を完成させなさい。

- (1) 太郎は、速く走れます。 able run is to

Taro \_\_\_\_\_ fast.

- (2) 私は、ケーキを作れません。 to make able not

\_\_\_\_\_ cakes.

- (3) Taro speaks French. (フランス語を話せます、の文に)

Taro \_\_\_\_\_ French.

- (4) Aki doesn't run fast. (速く走れません、の文に)

Aki \_\_\_\_\_ run fast.

- (5) あなたは、泳げますか。(3語と5語で、書きなさい)

\_\_\_\_\_ swim ?  
\_\_\_\_\_ to swim ?

can は、助動詞なので、後ろは、動詞の原形が続きます。  
be able to の次も、動詞の原形が続きます。

「～できません」なので、Aki can't run. Aki isn't able to run. の、どちらかです。  
つまり doesn't の出番は、ありません。

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

# ☆34 助動詞書き換え

四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。



親にもっと「勉強しなさい！」って、言ってもらいたかった。

「20才を過ぎて、ふと思ったんです。親にもっと、『勉強しなさい』って言ってもらいたかった。勉強に関しての情報を、いろいろもらいたかったです。」

これは、3月に来られた保護者の方（お母さん）の言葉です。中高で6年、社会に出てから40年として、学生時代の過ごし方ひとつで、のちの40年間で、影響を受けます。

こう考えると、「私が何か言うと、うるさいと言われるから、できるだけ子供の勉強には触れないで置く。」そんな必要は、まったくありません。

一方、子供であるあなたに聞きたいです。「本当にやる気がないと、勉強ってできないのでしょうか？」と。

試合に勝った。シュートが入った。成績が上がった。技を習得した。こう大小さまざまな結果が出たとき、やる気とは、自然に湧き上がってくるものだと思うのです。そしてこのことをよく知っているのは、誰よりもあなたたち自身ですよ。だから保護者の方には、「遠慮なく勉強のことをガンガン言ってほしい」と思いますし、あなたはあなたで、お母さんが言う事を、よく聞いてあげてほしいと思うのです。



構築したルートを捨てる勇気を持つておくことです。

出典「壁ドン！」 佐久間力氏 小学館 より

英文は、「主語+動詞～」でできている。  
 (例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)  
 これ全部が主語 動詞 ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

**will** = **be going to** ゴウイング **to** ~: ~するつもりです。

**will**+動詞の原形、または、**be** 動詞 **going to** 動詞の原形で、未来を表します。  
 ※**will** のあとに、**to** をつけないこと。また…  
 ※**be** 動詞 **going to** の **be** 動詞、つけ忘れ注意！

問題176 書き換えなさい。

- (1) I am going to visit Kyoto next week. (2) What are you going to do tomorrow?

I \_\_\_\_\_ visit Kyoto next week.

What \_\_\_\_\_ do tomorrow?

私は来週、[

あなたは [

]

]

問題177 文を完成させなさい。

- (1) 太郎は明日、奈良を訪れます。(訪れる予定です。の意)

Taro \_\_\_\_\_ Nara tomorrow.

- (2) 私は明日、早く起きません。(起きるつもりはありません。の意)

\_\_\_\_\_ going to get up early tomorrow.

**tomorrow** などがある場合、「未来の文」と分かるので、「～するつもりです」など、言う必要ありません。

- (3) Aki plays golf. (亜紀は来週 next week ゴルフをします、に)

Aki \_\_\_\_\_ golf next week.

- (4) あなたは明日、何をしますか。 going do

\_\_\_\_\_ tomorrow?

問題178 書き換えなさい。

- (1) 彼は忙しいはずがない。

He \_\_\_\_\_ busy .

- (2) 彼は来るに違いない。

He \_\_\_\_\_ come .

- (3) My mother can't be busy. (同じ意味に。)

My mother must be \_\_\_\_\_ .

## must と can't の、対立書き換え

**must** : ~に違いない [断定]

**can't** : ~のはずがない [断定の must と対比]

(例) Taro must come. ⇔ Taro can't come.

来るに違いない。 来るはずがない。

ワクワク [ ] 絶望… [ ]

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

# ☆34 助動詞書き換え



四角語句を、線の上に練習してください。

be 動詞：です。います。あります。  
主語が複数なら are、三人称単数は is。

今の「普通」が、いかに貴重で幸せなことか、想像してほしいです。

あなたには、どれほど今が幸せなのかを、想像してほしいと思います。縄文時代、戦国時代など、日本の歴史と比べてみてください。

そして今度は、現代で考えてみましょう（あなたが日頃からニュースを見ていて、世界の状況を、ある程度知っていることが、前提です）。

あなたは今、海外で生活しているとします。それらすべての地域で、今の「あなたの楽しみ」は、「普通」に行えそうだと思いますか。そして向こう 30 年間、そのまま続けられそうですか。

このあたりのことを、一度想像してほしいと思います。

ところで、今の「普通」とは何でしょうか？パソコン・携帯・DS・プレステ・Youtube が身近にある。きれいな水を存分に使えて、お風呂に入れる。屋根がある家で、暖かく過ごせる。

本当に日本は恵まれていますよね。

こういうことを、時々思い出して、「よし、いっちょ頑張ってみるかな」と、思っしてほしいなと思います。

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。  
book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。  
これを 2 回、紙に書く。そして 3 回目は、何も見ないで書いてみよう（自分テスト）。

**must** = **have to** または has to : ~しなければならない。

応用：must の過去形は、**must** です。  
私は英語を勉強しなければなりませんでした。  
**I must study English.** となる。←ほお…  
そうです。英文だけだと、現在か過去か、判断できません。文脈で判断するのです。

問題 179 同じ意味になる文を完成させなさい。

(1) We have to get up early. (2) Must I run? (現在の文と考えます)

We \_\_\_\_\_ get up early. \_\_\_\_\_ I \_\_\_\_\_ to run?

私たちは、早く [ \_\_\_\_\_ ]。 私は [ \_\_\_\_\_ ]。

have to の have は、一般動詞なので、質問文は、Do か Does を、主語の前に言います。

問題 180 文を完成させなさい。

(1) 私たちは、夕食を作らなければなりません。 (2) 彼は、泳がなければなりません。

We \_\_\_\_\_ make dinner. He \_\_\_\_\_ swim.

We \_\_\_\_\_ make dinner. He \_\_\_\_\_ swim.

(3) 私は、歩かなければなりませんか。

\_\_\_\_\_ have to walk ?

\_\_\_\_\_ walk ?

He must run . (質問文に)  
Must he run ?  
(彼は、走らなければなりませんか。)

(4) Aki has to make lunch. (質問文に)

\_\_\_\_\_ to make lunch ?

問題 181 書き換えて、文を完成させなさい。〈応用〉

(1) I'm sure that Aki is a spy. (私は確信している。垂紀はスパイだと。)

私は確信している。

= Aki \_\_\_\_\_ a spy.

断定の助動詞

I'm sure that アイム シュア ザット：私は確信している。きっと〜だと思う。  
that 以下には、文が来ます。(接続詞の that だからです)  
I'm sure that he likes a dog.  
私は確信している。彼は犬が好きだと。



出典「壁ドン！」 佐久間力氏 小学館 より

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

# ☆34 助動詞書き換え

四角語句を、線の上に練習してください。



ago. Umami □ already (すでに)  
and is known □ become (わかる)  
□ become (わかる)  
□ be known to ~ (知られている)

be interested in ~に興味がある

scientist 科学者  
discover 発見する

more than ~以上

hundred 百  
ago 前

原題の科学の扉

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すてにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。左が例です。

私（塾長）も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。と言いがすいすい。

**could** クドウ = **was** または **were able to** ~: ~することができました。

**able** エイブルと発音します。

**be able to**: ~できる。  
の **be** は、**be** 動詞です。  
現在→過去は、以下になります。  
**am, is** → **was** ワズ  
**are** → **were** ワー

**問題182** 文を書き換えなさい。

- (1) I was able to swim well. (2) Was Taro able to ski ?

I \_\_\_\_\_ swim well. \_\_\_\_\_ ski ?  
私は上手 [ \_\_\_\_\_ ]。 太郎は [ \_\_\_\_\_ ]。

**問題183** 文を完成させなさい。

- (1) 太郎は、速く走れました。 able run to

Taro \_\_\_\_\_ fast.

〈否定文〉  
**be able to** の **be** は、**be** 動詞ですので、否定文は、後ろに **not** です。

- (2) 私は、ケーキを作れませんでした。 not to able

I \_\_\_\_\_ make cakes.

- (3) Taro spoke French. (フランス語を話せました、に)

Taro \_\_\_\_\_ French.

〈後ろは動詞の原形〉  
**be able to** の次は、動詞の原形が続きます。

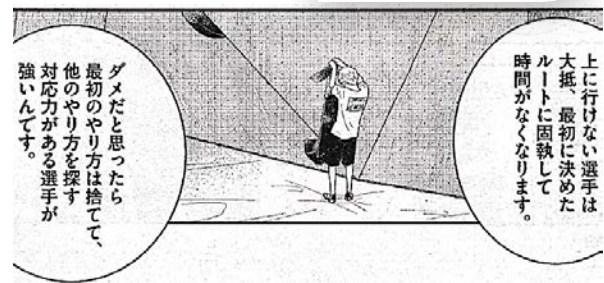
- (4) We didn't run fast. (速く走れませんでした、に)

We \_\_\_\_\_ run fast.

- (5) あなたは、泳げましたか。(5語と3語で、書きなさい)

\_\_\_\_\_ you \_\_\_\_\_ to swim ?  
\_\_\_\_\_ you \_\_\_\_\_ ?

〈**be** 動詞の区別法〉  
**be** 動詞は、主語によります。  
1. 主語が自分 → **am** (過去 **was**)  
2. 主語が話し相手 → **are** (過去 **were**)  
3. 主語が複数 → **are** (過去 **were**)  
● 1 2 3 以外は、**is** になります。



出典「壁ドン！」 佐久間力氏 小学館 より

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。

高校入試は、みんなに平等である、ということを理解します。

No, 9でもお話ししましたが、高校入試や大学入試とは、日程もテスト範囲も決まっています、その気になれば、10年くらいかけて、準備ができるシステムです。

こう考えると勉強とは、思った以上に平等です。ちょっと冷静になって、世の中を見渡してみますと、こんなにも平等な競争って、そうそうないと分かります。

つまり勉強とは「面倒なこと?」「にっこき敵?」とんでもない! 勉強とは「チャンス」なんです!

あとは、今日から頑張るか、明日から頑張るか。この選択だけです。このチャンスを生かすかどうかは、あなた次第です。

### 34 助動詞書き換え [解答]

[解答] 助動詞書き換え 34

- 問題 | 74 (1)can に泳げます (2)Can you スキーをできますか  
 問題 | 75 (1)is able to run (2)I'm not able to make (3)is able to speak (4)isn't able to (5)Can you , Are you able  
 問題 | 76 (1)will 京都を訪れます (訪れる予定です、訪れるつもりです も可)  
 (2)will you 明日、何をしますか (何をするつもりですか、何をする予定ですか も可)  
 問題 | 77 (1)is going to visit (2)I'm not (3)is going to play (4)What are you going to do  
 問題 | 78 (1)can't be (2)must (3)free (母は忙しいはずがない。=母はひまに違いない。)  
 問題 | 79 (1)must 起きなければなりません (2)Do / have 走らなければなりませんか  
 問題 | 80 (1)have to , must (2)has to , must (3)Do I , Must I (4)Does Aki have  
 問題 | 81 (1)must be ※下の文の訳…垂紀はスパイに違いない。  
 問題 | 82 (1)could に泳げました (2)Could Taro スキーをできましたか  
 問題 | 83 (1)was able to run (2)was not able to (3)was able to speak (4)weren't able to (5)Were / able , Could / swim

●信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。



出典「壁ドン!」  
佐久間力氏 小学館 より